

血清クレアチニン・シスタチン C 値と心血管疾患発症に関する研究

1. 研究の対象

2013 年 3 月から開始されたいわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート調査に参加され、血清クレアチニン及びシスタチン C が測定された参加者の方々

2. 研究期間

研究実施許可後～2027 年 3 月 1 日まで

3. 研究目的・方法

血清クレアチニン・血清シスタチン C は腎機能の一般的な指標として健康診断から臨床医学まで幅広く用いられます。また、血清クレアチニン・シスタチン C は比をとることで、サルコペニア(生活強度低下、るいそう)の指標となることも報告されています(*Diabetes Res Clin Pract* 2018;139:52-8)。腎機能の指標である eGFR は血清クレアチニン・血清シスタチン C から計算されますが、その差(eGFR difference)も同様の知見が報告されています。血液検査のみでサルコペニアの指標となり、非常に簡便な検査で評価が可能となるため、血清クレアチニン・シスタチン C 比及び eGFR difference の臨床上の意義の調査は急務です。糖尿病患者を対象とした研究では、血清クレアチニン・シスタチン C 比が動脈硬化と関わりがあることが報告され、心血管疾患との関連が予想されます。

いわて東北メディカル・メガバンク機構 (IMM) における東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査では、一般住民での心血管バイオマーカー群 (高感度トロポニン T および NT-proBNP) と心血管疾患発症リスクスコアとの関連について報告しています (Biomarkers. 2019;24:566-573)。これまでに、本邦での一般住民コホートを対象とした研究では eGFR difference 及び血清クレアチニン・シスタチン C 比と動脈硬化の関連及び心血管疾患発症の関連についての報告はありません。

今回、IMM 地域住民コホート調査参加者から得られた血清クレアチニン・シスタチン C を含むコホートデータを用いて、eGFR difference 及び血清クレアチニン・シスタチン C 比を層別化し、動脈硬化の指標である上腕-足首脈波伝播速度:baPWV の関連をロジスティクス回帰分析で評価し、Cox 回帰分析を用いて心血管疾患の発症との関連について明らかにすることを目的としています。

4. 研究に用いる試料・情報

IMM が実施した TMM 計画地域住民コホート調査に参加され、血清クレアチニン及びシスタチン C が測定された参加者。血液・尿検査データ、生理検査データ、アンケートデータ、年齢、性別を用います。

本研究で取得した上記の試料・情報は、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に準じて保管され、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。その際には新たに倫理審査を行った上で二次利用が行われます。

5. 研究費および利益相反

研究費はいわて東北メディカル・メガバンク機構予算を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係 (利益相反) はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門・講師
岩手医科大学内科学講座循環器内科兼任 那須崇人
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1
Tel: 019-613-7111(内線：71088) FAX: 019-907-7279
Mail : tnasu@iwate-med.ac.jp

研究代表者：

いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門・講師
岩手医科大学内科学講座循環器内科兼任 那須崇人
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1
Tel: 019-613-7111(内線：71088) FAX: 019-907-7279
Mail : tnasu@iwate-med.ac.jp

-----以上